資料１

伊予市学校等施設長寿命化計画

令和３年度～令和 12 年度
（2021 年度～2030 年度）

抜　粋


伊予幼稚園


翠小学校


港南中学校

2020（令和２）年４月

伊予市
IYO City



表 3．4　各施設における劣化状況調査結果

管理番号	施設名	棟名	築年数	劣化状況評価					健全度
				目視					
				屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	
1	南山崎小学校	校舎	39	B	B	A	B	B	84
2		屋内運動場	38	B	B	B	B	B	75
3	北山崎小学校	屋内運動場	38	B	B	A	A	A	90
4		校舎	34	B	B	B	B	B	75
5		校舎	29	B	B	B	B	B	75
6	郡中小学校	校舎	42	C	C	A	A	A	77
7		校舎	37	B	B	B	B	B	75
8		屋内運動場	36	B	C	B	B	B	64
9		校舎	33	C	C	B	B	B	61
10		校舎	29	C	C	B	B	B	61
11		配膳室	5	A	A	A	A	A	100
12	伊予小学校	屋内運動場	35	C	C	B	B	B	61
13		校舎	30	C	C	B	B	B	61
14		校舎	6	A	A	A	A	A	100
15		校舎	17	A	A	B	B	B	84
16	中山小学校	校舎	49	B	C	B	C	C	56
17		校舎	40	B	B	A	B	B	84
18		屋内運動場	39	B	B	A	B	B	84
19	佐礼谷小学校	屋内運動場	43	B	C	A	C	C	65
20		校舎	31	B	C	B	B	B	64
21	下灘小学校	屋内運動場	34	B	C	B	B	B	64
22		校舎	7	A	A	A	A	A	100
23		プール更衣室	28	B	C	B	B	B	64
24	由並小学校	校舎	36	B	C	B	B	B	64
25		屋内運動場	27	B	B	B	B	B	75
26	翠小学校	校舎	88	A	B	A	C	C	77
27		屋内運動場	33	A	B	B	B	B	77
28	港南中学校	武道館	29	B	B	B	B	B	75
29		校舎	15	A	B	A	A	A	92
30		校舎	15	A	B	A	A	A	92
31		屋内運動場	7	A	A	A	A	A	100
32		校舎	7	A	A	A	A	A	100
33		部室棟	5	A	A	A	A	A	100
34		駐輪場	2	A	A	A	A	A	100
35	伊予中学校	校舎	39	B	B	A	A	A	90
36		校舎	32	B	C	B	B	B	64
37		屋内運動場	27	B	C	B	B	B	64
38		武道館	27	B	B	B	B	B	75
39		校舎	21	B	C	B	B	B	64
40	中山中学校	校舎	45	B	C	B	C	C	56
41		屋内運動場	5	A	B	A	A	A	92
42		部室棟	37	C	C	B	B	B	61
43	双海中学校	校舎	35	C	C	B	B	B	61
44		校舎・武道館	35	B	B	B	B	B	75
45		屋内運動場	35	B	B	B	B	B	75
46		校舎	9	A	B	A	A	A	92
47		校舎	9	A	A	A	A	A	100
48	北山崎幼稚園	園舎	29	A	A	B	B	B	84
49	伊予幼稚園	園舎	34	C	B	B	B	B	72
50	伊予市学校給食センター	給食センター	4	A	A	A	A	A	100
51		倉庫棟	4	A	A	A	A	A	100

※健全度の算定は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に示されている算定方法に基づき、100 点満点で算定します。

健全度
低　高

表 3.4 に示すとおり、本市の学校等施設においては各部位の劣化状況が D 判定の建物はなく、健全度は比較的高いことが把握できます。一方で、中山小学校、中山中学校の校舎においては、各部位で全体的に劣化が進行しているため、優先して改修、改築等の対応が必要となります。

第４章　学校等施設整備の基本的な方針

第４章では、学校等施設の再配置・複合化に関する方針、改修等の基本的な方針及び目標耐用年数の長寿命化などの基本的な方針を検討し、整理しています。

4.1 学校等施設の再配置・複合化の方針

本市においては、今後 10 年間では年少人口の減少が比較的穏やかですが、40 年間ではすべての地域で大幅に減少する予測となっています。また、現時点ではほとんどの学校等施設において老朽化度が 50～70%程度ですが、40 年後は 100%を超える建物が多くなることを考慮する必要があります。

以上を踏まえて、総合管理計画に示されている学校教育系施設の基本方針に基づき、今後 10 年間は現状維持とし、40 年後の年少人口や老朽化状況を踏まえた適切な再配置・複合化の方針を検討します。

なお、本市の幼稚園は、「伊予市公立保育所の適正規模及び民営化基本方針」に基づき、順次認定こども園となる予定です。そのため、施設の所管が学校教育課から子育て支援課へ移管される予定となっており、検討の対象外としています。また、2016（平成 28）年 9 月に市内の給食センター7 施設を 1 施設へと統合しており、老朽化度が低いため検討の対象外としています。

4.1.1 方針の検討における留意点

(1) 方針の検討における留意点

再配置・複合化の方針の検討にあたっては、以下の点に留意しています。

なお、あくまでも方針（案）であるため、今後の人口分布や社会状況に応じて、適宜見直す予定であり、事業実施を決定づけるものではありません。

①旧市町の区分

2005（平成 17）年に伊予市、中山町、双海町の 3 市町が合併した背景を踏まえて、上記の 3 地域に分けてそれぞれの地域ごとに検討を行います。

②人口分布状況

現在の人口分布、将来の人口分布予測を考慮して、人口減少が特に著しい地域の再配置・複合化を検討します。

③児童・生徒の通学区域

文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」(2015（平成 27）年 1 月）に基づき、小学生は 4km、

中学生は 6km 以内を通学区域として、適切な再配置・複合化を検討します。なお、通学時間が長くなる場合は、スクールバスの運行についても想定しています。

④児童・生徒数、学級数の推移

現在及び 40 年後の児童・生徒数を基に、学校等施設が適切な規模となるように検討します。文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」（2015（平成 27）年 1 月）に基づき、最小限度の学級数を小中学校 1 学年あたり 2 学級とします。なお、望ましい 1 学級あたりの児童・生徒数は、本市の現状に基づいて 35 人としています。

表 4．1 小中学校における学校の規模分類

学校	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
小学校	5 学級以下	6～11 学級	12～24 学級	25～30 学級	31 学級以上
中学校	2 学級以下	3～11 学級	12～18 学級	19～30 学級	31 学級以上

⑤老朽化度の進行

現時点では、老朽化度が 50～70%程度の施設が多いですが、40 年後には現在から大きく進行しているため、それらを考慮します。

※老朽化度は、各施設において複数棟存在する場合は、最も老朽化しているものとしています。

⑥健全度評価

健全度評価については、将来の予測が困難であるため、現在の健全度を考慮します。

点検により随時更新されることを踏まえて、本計画の見直し時には更新した健全度を考慮する必要があります。

※健全度は、各施設において複数棟存在する場合は、最も劣化しているものとしています。

(2) 各地域の施設ごとの諸元の整理

上記に留意して、各地域の施設ごとの諸元を図 4.1 のように整理した上で、国勢調査（2015（平成 27）年）による人口統計を GIS マップ上に落とし込み、再配置・複合化を検討します。

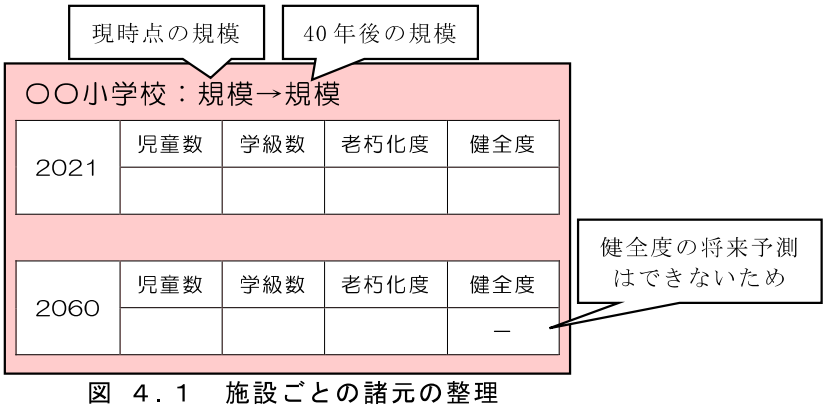


図 4．1 施設ごとの諸元の整理

4.1.2 各地域における再配置・複合化の方針

＜伊予地域における再配置・複合化の検討結果＞

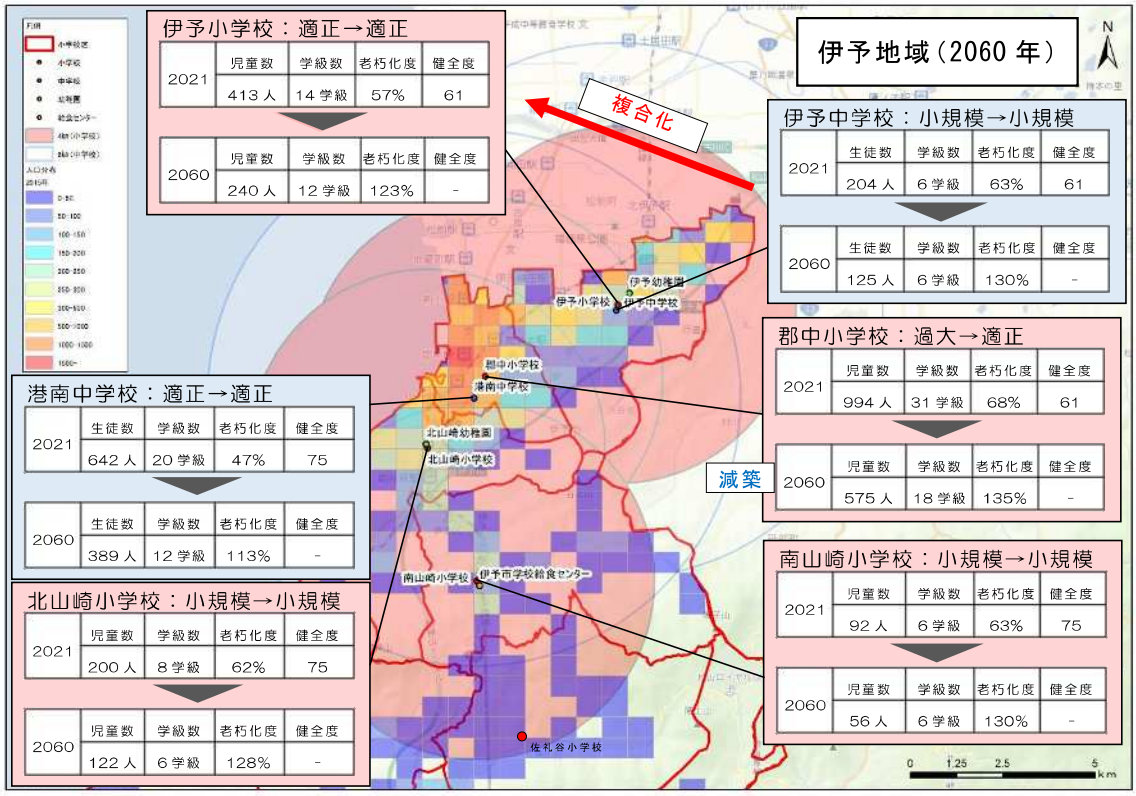


図 4.2 40 年後の再配置・複合化の検討結果（伊予地域）

今後 40 年間の伊予地域の学校等施設の再配置・複合化の方針

◆現在、伊予小学校、伊予中学校においては、学校が隣接しているためグラウンドを共有して運動会等のイベントを合同で行うことがある。また、児童・生徒数の減少が想定される。

◆南山崎小学校の通学区域※の重なる範囲が狭く、統合することが難しい。

◆郡中小学校においては、児童数が大幅に減少するため適正規模となるが、余剰教室が多く発生することが懸念される。

- **伊予小学校、伊予中学校においては、複合化が考えられる。**
- **郡中小学校においては、減築が考えられる。**

■ **今後、市として学校の再配置・複合化計画を検討し、策定する必要がある。**

※: 文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」（2015（平成 27）年 1 月）に基づき、小学生は 4km、中学生は 6km 以内を通学区域としています。

＜中山地域における再配置・複合化の検討結果＞

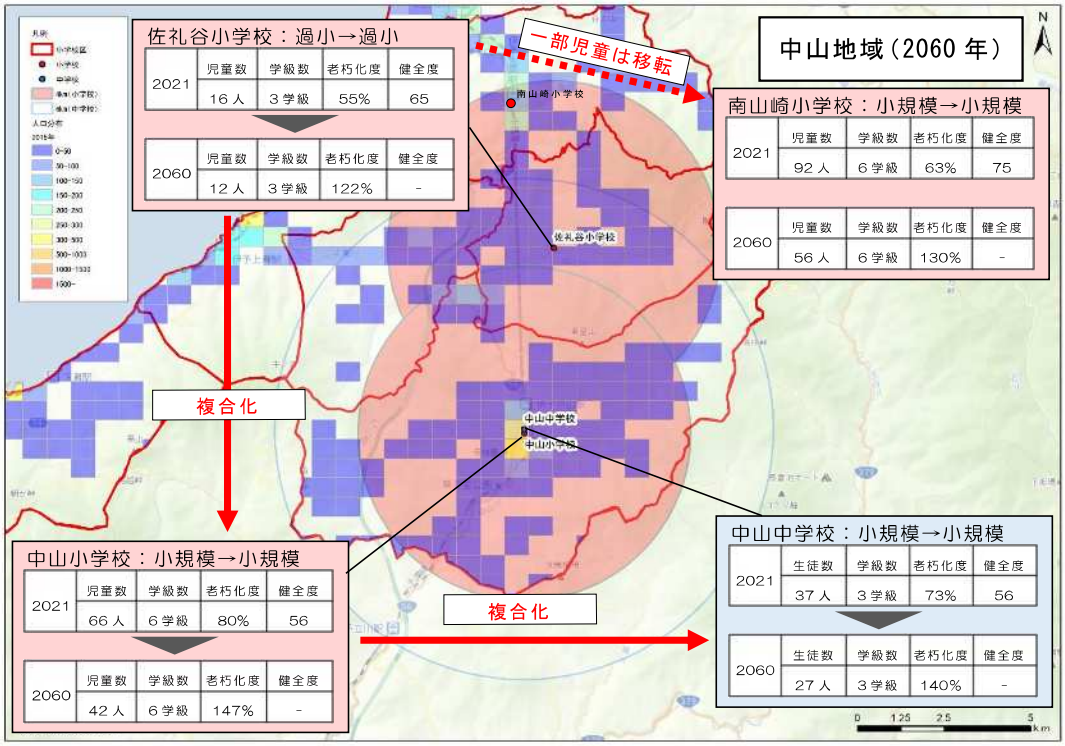


図　4．3　40 年後の再配置・複合化の検討結果（中山地域）

今後 40 年間の中山地域の学校等施設の再配置・複合化の方針
◆現状で全ての小中学校が小規模または過小であり、学級数が総じて少ない。 ◆佐礼谷小学校は 2 学年に 1 学級であり、適正規模の観点からは統合が望まれる。 ◆南山崎小学校と佐礼谷小学校の通学区域※が重なる範囲が広い。 ◆中山小学校、中山中学校の老朽化度が 70%以上であり、健全度は低くなっている。 ➢ **中山小学校、中山中学校においては、児童・生徒数の減少、老朽化状況を考慮して、複合化することが考えられる。** ➢ **佐礼谷小学校においては、児童数の減少、老朽化状況を考慮して、中山小学校と統合することが考えられる。その際、一部希望する児童は、距離を考慮して南山崎小学校への通学も考えられる。** ■ **今後、市として学校の再配置・複合化計画を検討し、策定する必要がある。**

※: 文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」（2015（平成 27）年 1 月）に基づき、小学生は 4km、中学生は 6km 以内を通学区域としています。

＜双海地域における再配置・複合化の検討結果＞

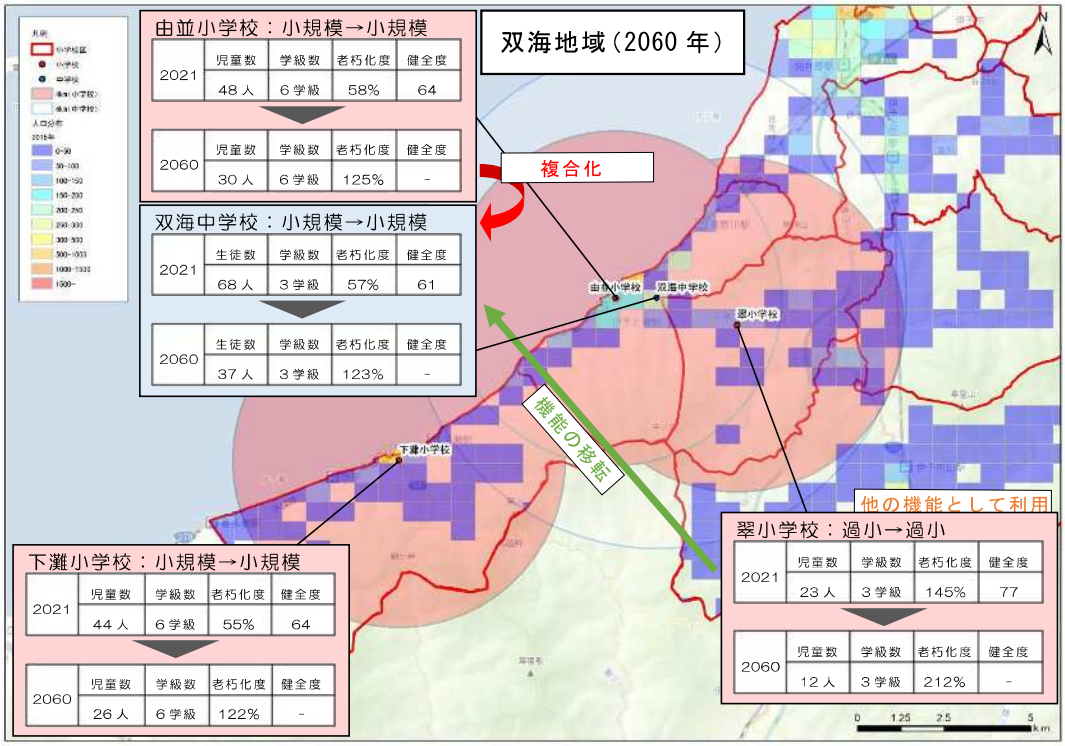


図　4．4　40 年後の再配置・複合化の検討結果（双海地域）

今後 40 年間の双海地域の学校等施設の再配置・複合化の方針
◆現状で全ての小中学校が小規模または過小であり、学級数が総じて少ない。 ◆2010（平成 22）年に旧上灘中学校、旧下灘中学校が統合され、双海中学校と校名を変えた。 ◆翠小学校は築年数が古く、現時点で老朽化度は 147%であるが、2010（平成 22）年に全面改修されているため、健全度は高くなっている。 ◆翠小学校は 2 学年に 1 学級であり、適正規模の観点からは統合が望まれる。 ◆翠小学校、由並小学校は通学区域※が重なる範囲が広い。 ➢ **翠小学校の校舎及び体育館は防災機能等を保持しながら、他の施設として利用することが考えられる。** ➢ **由並小学校、双海中学校において、児童・生徒数の減少、老朽化状況を考慮して、複合化することが考えられる。** ➢ **中山地域と同規模の小中学校の保有量を維持していくことが考えられる。** ■ **今後、市として学校の再配置・複合化計画を検討し、策定する必要がある。**

※: 文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」（2015（平成 27）年 1 月）に基づき、小学生は 4km、中学生は 6km 以内を通学区域としています。

表 6.1　今後 10 年間における維持・更新等の実施計画

優先順位	施設名	棟名称	構造	延床面積（㎡）	建築年度	築年数	実施内容									
							2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
1	佐礼谷小学校	屋内運動場	S	852	1977	43	長寿命化改修									
		校舎	RC	1,739	1989	31	部位修繕								長寿命化改修	
2	翠小学校	校舎	W	1,088	1932	88	部位修繕									
		屋内運動場	RC	711	1987	33							長寿命化改修			
3	中山小学校	校舎	RC	1,351	1971	49	長寿命化改修									
		校舎	RC	1,098	1980	40	長寿命化改修									
		屋内運動場	RC	977	1981	39	長寿命化改修									
4	中山中学校	校舎	RC	2,904	1975	45			長寿命化改修							
		屋内運動場	RC	1,100	2015	5										
		部室棟	S	120	1983	37			長寿命化改修							
5	由並小学校	校舎	RC	2,097	1984	36				長寿命化改修						
		屋内運動場	RC	680	1993	27										
6	伊予中学校	校舎	RC	1,755	1981	39						長寿命化改修				
		校舎	RC	1,646	1988	32	部位修繕							長寿命化改修		
		屋内運動場	RC	1,167	1993	27	部位修繕									
		武道館	RC	550	1993	27										
		校舎	RC	295	1999	21		部位修繕								
7	郡中小学校	校舎	RC	3,582	1978	42					長寿命化改修					
		校舎	RC	981	1983	37			長寿命化改修							
		屋内運動場	RC	2,235	1984	36									長寿命化改修	
		校舎	RC	2,241	1987	33			部位修繕				長寿命化改修			
		校舎	RC	2,871	1991	29		部位修繕								
		配膳室	S	136	2015	5										
8	南山崎小学校	校舎	RC	2,133	1981	39										長寿命化改修
		屋内運動場	RC	1,233	1982	38						長寿命化改修				
9	伊予小学校	屋内運動場	RC	1,395	1985	35										
		校舎	RC	1,911	1990	30			部位修繕							
		校舎	RC	2,681	2014	6										
		校舎	S	115	2003	17										
10	北山崎小学校	屋内運動場	RC	1,235	1982	38										
		校舎	RC	2,435	1986	34										
		校舎	RC	2,159	1991	29										
11	下灘小学校	屋内運動場	RC	1,042	1986	34			部位修繕							
		校舎	W	1,376	2013	7										
		プール更衣室	RC	155	1992	28			部位修繕							
12	双海中学校	校舎	S	1,078	1985	35										
		校舎・武道館	S	353	1985	35										
		屋内運動場	RC	1,123	1985	35										
		校舎	W	270	2011	9										
		校舎	W	939	2011	9										
13	港南中学校	武道館	RC	650	1991	29										
		校舎	RC	9,609	2005	15										
		校舎	S	899	2005	15										
		屋内運動場	RC	2,601	2013	7										
		校舎	RC	269	2013	7										
		部室棟	RC	887	2015	5										
		駐輪場	S	584	2018	2										
合計概算費用（億円）							5.0	4.9	5.1	5.8	4.7	5.3	5.6	4.5	5.7	5.9

長寿命化改修　部位修繕　改築

※部位修繕とは、現時点で評価 C の部材を修繕するものである。本計画の更新をふまえて、5 年以内に実施するものとする。
※南山崎小学校の校舎は 2030（令和 12）年、2031（令和 13）年の 2 ヵ年で長寿命化改修を実施する。

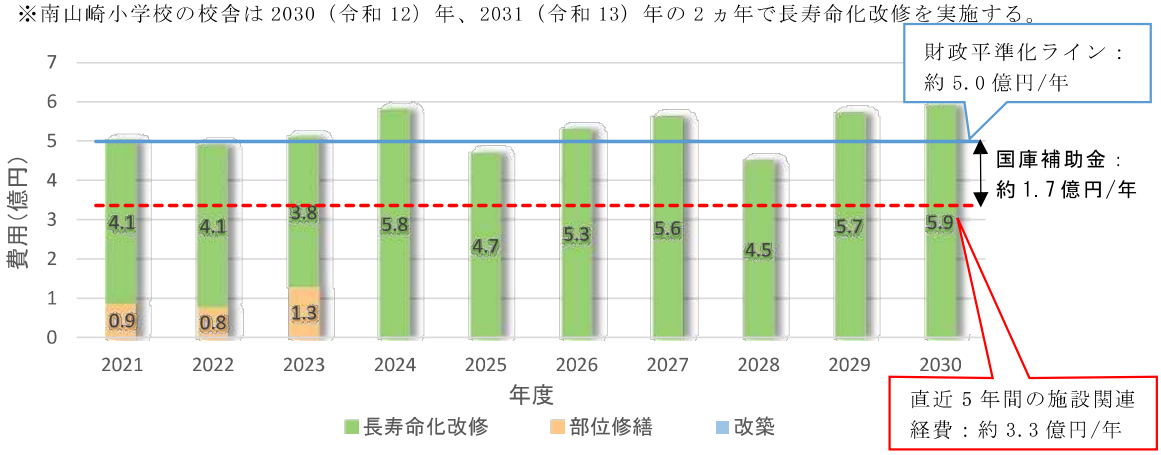


図 6.2　概算費用の推移